

国語 第1学年 おおきく なった

授業の設計図

元にした物：小学校学習指導要領（平成29年告示）の原文と、国立教育政策研究所の学習評価の参考資料。教科書の本文・問題・挿絵は入れていません（先生が入れる欄）。光村図書の令和6年度版年間指導計画に基づく1学期の授業案。教材本文・台詞・挿絵・問題文は転載していない。

この単元で子どもが最後にできるようになること

観察して気付いた大きさや形の変化を、伝える材料として選ぶ。学習の記録は、観察の事実、選んだ特徴、言葉だけで描いた文章、読み手からの質問と修正である。

学習指導要領のどこに書いてあるか（原文）

学習指導要領の項目	原文
〔第1学年及び第2学年〕 B 書くこと(1)ア	ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。
〔第1学年及び第2学年〕〔知識及び技能〕 (1)オ	オ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。

単元の目標

身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。〔〔知識及び技能〕 (1)オ〕
観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。（B(1)ア）
観察して気付いた大きさや形の変化を、伝える材料として選ぶ学習の中で、言葉への関心をもち、自分の取り組みを見直そうとする。

評価規準（3観点）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。〔〔知識及び技能〕 (1)オ〕	①「書くこと」において、観察したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。（B(1)ア）	①観察して気付いた大きさや形の変化を、伝える材料として選ぶ学習に進んで取り組み、友達の反応や自分の記録を確かめながら、言葉の使い方や捉え方を見直そうとしている。

単元の流れ

光村図書の年間指導計画による全4時間（書4）。総時数は公式資料に従う。各時の配分と本時の選定は、本案による授業配当の提案である。

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第1次	1	○誰に何を伝えるかを確認め、書く材料や最初の文を出す。 学校で育てるものなどを観察し、形・色・大きさを絵と言葉で記録する。	学習状況を見て支援する。
第2次	2～3 （本時）	○学校で育てるものなどを観察し、形・色・大きさを絵と言葉で記録する。前の記録と比べて知らせたい変化を選び、短い文にする。	思①（発言・活動中の記録・作成物）
第3次	4	○読み手が受け取った意味を確認め、自分の意図と違った箇所を選んで直す。残した表現にも理由をもつ。学習前後の記録を比べて、確かめたことをまとめる。	態①（学習前後の記録と見直しの理由）



本時の案

本時の目標：観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。（B(1)ア）

段階	学習活動（○主な発問） ・予想される児童の反応	指導上の留意点（◎評価）
導入 （ 分）	誰に何を伝えるかを確かめ、書く材料や最初の文を出す。 ○「前に見た時と比べ、何がどう変わりましたか」 【めあて】観察して気付いた大きさや形の変化を、伝える材料として選ぶ。 〈予想される児童の反応〉 ・かわいいだけでは形が分からない。	最初の言い方や記録を残し、授業後の考えと比べられるようにする。正答を先に示さず、扱う言葉と課題を確認する。
展開 （ 分）	○「前に見た時と比べ、何がどう変わりましたか」 学校で育てるものなどを観察し、形・色・大きさを絵と言葉で記録する。前の記録と比べて知らせたい変化を選び、短い文にする。 読み手が受け取った意味を確かめ、自分の意図と違った箇所を選んで直す。残した表現にも理由をもつ。 〈予想される児童の反応〉 ・かわいいだけでは形が分からない。 ・大きさより並び方を説明したい。 ・触っていないのに柔らかいと決めていた。	教師が用意した安全な身近な物を観察し、形・色・位置・動きなどの記録から必要な特徴を選ぶ。独自例「赤い物」からどこが赤いかまで説明を加え、読み手の想像と照合する。 想定する難しさ：印象語だけで対象が伝わらない、見た事実と想像を混ぜる。 評価では、観察したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりしているかを、観察の事実、選んだ特徴、言葉だけで描いた文章、読み手からの質問と修正と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。 ◎思① 観察したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。（発言・活動中の記録・作成物）
まとめ （ 分）	【まとめ】問いへの答えを、今日確かめた言葉や表現を含めて話す。 観察の事実、選んだ特徴、言葉だけで描いた文章、読み手からの質問と修正を見返し、初めと変わった点や、そのまま残した理由を確かめる。 〈予想される児童の反応〉 ・触っていないのに柔らかいと決めていた。	教師のまとめを写すだけにせず、本人が選んだ言葉と理由を確かめる。態度は本時だけで決めず、単元を通した取り組みと調整の記録を合わせて判断する。 ◎態①（最初と最後の記録、見直しの理由）

板書の構造（縦書き・右から左へ）

縦書きで、右から左へ学習の流れを配置する。右端に題名とめあて、その左に問い「前に見た時と比べ、何がどう変わりましたか」。中央は、観察の事実、選んだ特徴、言葉だけで描いた文章、読み手からの質問と修正に必要な言葉・材料と、考えた理由を対応させる。本文を扱う場合は先生が手元の教科書から必要

な範囲を示す。左側に比べて気付いた点と見直した箇所、左端に本時で確かめたことを置く。

つまずきやすい所と手当て

印象語だけで対象が伝わらない、見た事実に想像を混ぜる。この難しさには、教師が用意した安全な身近な物を観察し、形・色・位置・動きなどの記録から必要な特徴を選ぶ。独自例「赤い物」からどこが赤いかまで説明を加え、読み手の想像と照合する。評価では、観察したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりしているかを、観察の事実、選んだ特徴、言葉だけで描いた文章、読み手からの質問と修正と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。

プリントの案

本時の記録

観察の事実、選んだ特徴、言葉だけで描いた文章、読み手からの質問と修正を残す欄を用意する。教材本文や図を複製せず、自分の言葉や印で記録する。

比べて確かめたこと

最初の考えや表現、友達からの反応、確かめた言葉、最後に選んだ考えや表現を対応させる。書く負担が大きい場合は口述や指差しも教師が記録する。

出典：光村図書 令和6年度版 年間指導計画。教材名・時期・総時数・目標の出典。年間指導計画例 Excel（1年）「1年上巻」75行目（https://www.mitsumura-tosho.co.jp/download_file/view/088f2846-983b-455d-b185-6c3a18a27671/368）／文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）。保存した公式原文と学年段階・項目を照合。

（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm）／国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語。評価の観点と記録の考え方。

（https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf）

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)

https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

